

広島市シニア大学院 広 報 紙

だいがくいん



令和4年度第1号（5月19日） 編集/発行 大学院自治会文化部

平成28年8月創刊

今年のシニア大学院について

広島市シニア大学院 学生自治会会長 5班2年 畠迫利雄



一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

新しく一年生を大学院自治会の仲間として迎えることを心より歓迎いたします。二年生の皆さんも進級おめでとうございます。

既にご承知のように、この2年間新型コロナの影響により、日常生活に大きな制約が生じ、当大学も例外ではなく、ある意味仮死状態が続いている状況と言えます。

今年に入り、新型コロナが終息したわけではありません、ウィズコロナという私たちがかつて経験したことのない時代を迎え、手探り状

態で社会生活を送る方向で進んでいるのが現実です。

従って、日常の生活も全く以前の通りには出来ません。いろいろな制限（マスクの着用やソーシャルディスタンスの確保等）がかかり、不便な生活がまだまだ続くのは必定です。

シニア大学・院も、二年前通りの講座や班活動、大学祭や研修旅行等メイン行事を行なうことは、今年も難しいと思われます。事業運営では、やれるものは積極的に実施しますが、昨年度と同じように新型コロナの状況を見て、何よりも皆さんの健康を勘案しながら進んで行かざるを得ません。

ただ言えることは、状況が変わってもシニア大学・大学院の役割は、高齢者がより楽しく生きがいを持って活動できる「居場所」づくりであると思っています。その為には、学生自治会も考えながら事業等を進めてまいります。みなさま一人ひとりも今だからできることを、状況を見ながら実行して欲しいと思います

特に、サークル活動については、2年間のブランクにより廃部寸前のサークルが多い状態です。是非とも、自らチャレンジしたり、懇意な方や興味ある方に入部の懇願等により、シニア大学の大きな魅力の一つであるサークル活動の活性化を図って欲しいものです。また班活動でも、メールや電話連絡や少人数の交流などで、孤独感を少しでも和らげるように、努力していただきたい。

いずれにしても、このような状況だからこそ、学生の皆さんに少しでもシニア大学に魅力を感じていただいて、不幸にして昨年のように多くの仲間が去っていくことがないような組織にしたいものです。シニア大学も大学院の私たちも、思いは一つだと思います。大学の主な行事は、合同で実施されるので、お互い助け合いながら進んでまいりたいと思います。特に、2年間のブランクは大きなものがありますので、先輩として親切に協力して頂きたいと思っております

最後になりますが、シニア大学院に誇りをもってみんなで仲良くエンジョイしましょう。